

晃の園だより



空を舞うツバメの姿や、水を張った田んぼから聞こえるカエルの鳴き声、そして収穫が終わり刈り込まれた茶畑などに初夏を感じる季節になりました。まだ梅雨前だというのに気温も湿度もぐんぐんと上昇する日もあって、束の間の快適な季節に慣れてしまった身体には少し辛いこの頃です。

最近、あちこちで地殻の変動が報告されています。固く動かない印象の地面ですが、その構造と成り立ちからすれば、むしろ流動的なものとして認識した方が適切なのかもしれません。また早い時期の台風や、季節の変わり方など、気象も世界規模で確実に変化しています。これに関しては私たちの暮らしのあり方を含めて考えなければならない問題ですね。そして介護の世界に目を向ければ、この春に介護報酬の大規模な改定がありました。これまでも定期的な見直しや改定がありましたが、制度の継続という大目的を考えれば、これからも変わり続ける事は容易に予想できます。

変化の間隔が長いものに関して、私たちの中でその認識が薄れてしまうということはよくある話です。でも油断は禁物です。視野を広く持ち、流れを読んで舵を切る必要があります。連続する変化の中であって、自らも変化を繰り返し環境に対応し続ける。それこそが、本当に大切なもの、変えたくないもの、変えるべきでないものを守り続ける唯一の手段となるからです。

春色の散歩みち

春の風が季節と共に通り抜けていきます。留まることを知らない季節の移ろいの中で、そのひとときを楽しみました。



知ること、景色が違って見えてきました

天気が良かったので外へ散歩に出かけてみました。土手の植物を見て入居様が「これは食べれるのよ」「これは食べれないけど、綺麗な花が咲くのよ」と、色々教えて下さりました。

普段その土手を、新緑は綺麗だけれど雑草ばかりで寂しいと感じていたのですが、気が付くと夢中でどんな種類があるのか探していました。少しの知識があるだけで、こんなにも景色が違って見えるのですね。

教えていただくことがたくさんあります

入居様と実習生さんと一緒に花壇へお花を植えてみました！「これはこっちのほうがいいね」「金魚草だね、これは」など。植木屋さんの娘さんだけあって、配置やお花に関する知識をたくさん教えてくださいました。やっぱりお花があると違いますね、素敵な花壇になりました！

また別の日には、水やりを行ってくださいました！「葉っぱへかけるのじゃなくて、根元にはかけないね」なるほど、そうなのですね。人生の先輩から教えていただくことが本当にたくさんあります。



春は毎年訪れますが、今年の春は今年だけの唯一無二の春です。

今年だけのそよ風、今年だけの陽射し、そして今年だけの春の記憶を心に残して、やがて訪れる次の季節を迎えたいと思います。

フリーマガジンで駿河会のサービスが紹介されました



静岡県中部を中心に配布されているフリーマガジン「すろ〜かる」を皆さんご存知ですか？そのすろ〜かる6月号の藁科街道特集の中で、晃の園を含む駿河会のサービスが紹介されました。

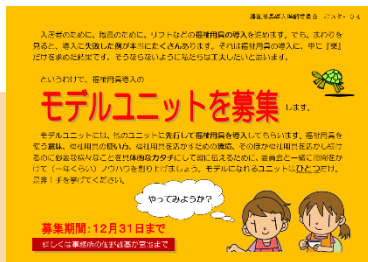
駿河会の全ての事業所を紹介することは難しいので、富沢の特別養護老人ホーム晃の園とケアハウ斯拉ポーレ駿河、そして山崎のデイサービスごろごにスポットをあてています。「すろ〜かる」独特の、柔らかな雰囲気で紹介されている晃の園を、是非ご覧ください。

全ユニットへのリフト配備が完了

活動開始から5年、こつこつとここまで歩んできました

5月14日、新樹棟に居室用の移乗用リフトが3台配置されました。実はこれは大きな節目となる出来事なのです。というのも5年前の平成22年7月、主任クラスの職員たちがリフトの活用に進取的に取り組んでいる施設を見学し、俄然盛り上がったことからスタートした晃の園でのリフト導入プロジェクト。その後1年の準備期間を経て、晃の園で初めての床走行リフトが導入されたのが平成23年の7月でした。その後4年の歳月をかけて、段階的に導入を進めてきた晃の園でのリフト導入は、今回のいよ晃の園すべてのユニットでの配備を完了することができ

新樹棟での稼働開始にて、いよきました。

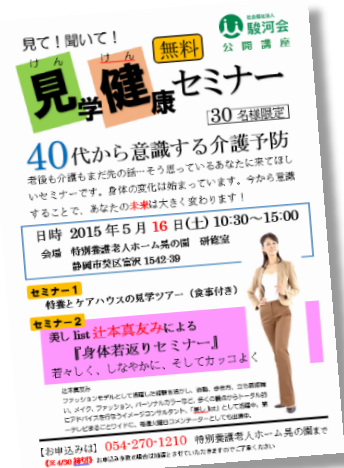


【プロジェクトがスタートした頃、園内掲示用に作成されたポスターたち】

リフトを導入したものの、様々な理由により利用が定着できなかったという多くの事例から、私たちはリフト定着の鍵は、リフトを使う職員の認識や理解にあると考えました。そしてそういったものを確実に広めていくことに重点を置いて、段階的な導入を4年の歳月をかけて実行してきました。



先に導入を済ませたユニットで、なくてはならない存在となっている移乗用リフト。これからも入居者様と職員双方の安心と安全を乗せて活躍してくれることでしょう。



見学健康セミナーを開催 駿河会の公開講座

気候に恵まれた5月の中旬に、駿河会の公開講座『見学健康セミナー』を開催しました。当日は事前に申し込みいただいた大勢の方に参加いただきました。

【セミナーメニュー】

- ① 医療・介護に関する情報をわかりやすく解説
- ② 福祉用具の体験会と施設の見学
- ③ ケアハウスでの食事会
- ④ 外部講師による健康セミナー



こういったセミナーを開催する意味はたくさんありますが、なかでも重要なのは地域への貢献です。事業を運営してサービスを提供するのが社会福祉法人の基本的な使命ではあります。でもその枠を超えて、法人が持っている知識や技術、そして情報や設備といったものを、積極的に地域へ向けて発信・提供することで、今よりももっと地域へ貢献することができるし、連携を深めることが可能になると考えています。

セミナーに参加された皆さんに残った駿河会の印象が、他の人へも伝わり、いつかどこかで何かの縁となって繋がれば嬉しいです。



晃の園ショートステイ通信



新しい家具で気持ちよく

テーブルと椅子を新しくしました

毎日使うものだから。生活を支えるものだから。触って触れるものだから。新しい家具で気持ちよく過ごしていただきたい。だから…

ショートステイでお使いいただいているテーブルと椅子を、全て新しいものに入れ替えました。勿論、使い込まれた家具にも良さがあり、落ち着きや安心感もあります。でもやっぱり新しい家具の気持ちよさにはかないません。そして毎日使うものだからこそ、この気持ちよさの影響はより大きなものとなります。食事の時間に、活動の時間に、利用者の皆さんの毎日に寄り添う新しい家具たちが活躍しはじめました。



食べる楽しみ、食のイベント定期開催！

4月には握りずしを、5月には天ぷらをお楽しみいただきました



毎日三度のお食事を、きちんとお楽しみいただくのは勿論ですが、毎月特別な日を設けて特別な食事をお楽しみいただくという『食の楽しみ企画』が4月からスタートしています。月に一度だけの開催ではありますが、普段とは違う特別な雰囲気をも楽しんでいただければと思います。



平成27年8月から一部制度に変更があります

特別養護老人ホームの多床室（晃の園では榎棟と新樹棟）に入居されている方と、ショートステイをご利用されている方のうち、市区町村民税課税世帯の方等については、平成27年8月から居住費（滞在費）の負担額が上がります。その他にも、負担軽減基準の変更や、一定以上の所得のある方の介護サービス利用負担割合の変更などが実施されます。詳しくは別紙資料にてご確認ください。晃の園までお問い合わせください。



社会福祉法人駿河会 特別養護老人ホーム晃の園 平成27年6月発行

〒421-1311 静岡県静岡市葵区富沢 1542-39

電話 054-270-1210 ホームページ: <http://www.surugakai.net/hikari/>